

年金担保貸付に関するアンケート調査

調 査 報 告 書

平成 2 2 年 1 2 月

独 立 行 政 法 人 福 祉 医 療 機 構



# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査方法	3
4 調査の時期	3
5 調査回収結果	3
6 調査事項	3
7 その他	3

## II 調査結果

1 回答者の属性等	7
1-1 回答者の属性	7
1-2 利用の制度	7
1-3 年金の種類	8
1-4 家族構成	8
1-5 療養介護を要する65歳以上の高齢者の有無	10
1-6 年間総収入等	10
1-7 年金担保貸付の利用状況	13
1-8 年金担保貸付制度の情報入手経路	16
1-9 年金担保貸付以外の借入状況	17
1-10 家族の借入申込の認知	18
1-11 借入経験者の生活保護受給状況	19
1-12 申込みに当たっての相談先	20
2 年金担保貸付利用に係る評価等	21
2-1 年金担保貸付利用の背景	21
2-2 年金担保貸付制度の満足度	21
2-3 年金担保貸付制度がない場合の状況	24
2-4 平成22年2月の制度取扱変更に係る評価	25
2-5 独立行政法人福祉医療機構以外での年金担保貸付の禁止	26
2-6 信用保証制度の利用理由	27
2-7 生活福祉資金	28
2-8 年金担保貸付制度に関するご意見・ご要望（自由記載）	30



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

本調査は、年金担保貸付事業及び労災年金担保貸付事業について、制度運営の実態を把握するため、実施するものである。

## 2 調査の対象

平成 22 年 8 月 3 日から同年 9 月 1 日までの間に、年金担保貸付（労災年金担保貸付を含む。以下同じ。）の受託金融機関窓口において年金担保貸付の借入申込を行った者。

## 3 調査方法

受託金融機関窓口において調査期間中の全借入者に対して調査票を配布し、記入後、直接福祉医療機構に郵送することにより回収・集計を行った。

## 4 調査の時期

平成 22 年 8 月 3 日～9 月 1 日

## 5 調査回収結果

対象者数：23,071 名

回答数：4,096 名

回答率：17.8%

## 6 調査事項

調査の主な事項は以下のとおりである。

- ① 回答者の属性、年間総収入等
- ② 借入の申込金額、返済額、用途等
- ③ 年金担保貸付以外の借入先、金額、用途等
- ④ 年金担保貸付制度の利用背景、制度への満足度
- ⑤ 制度取扱変更の評価等
- ⑥ 生活福祉資金の認知度等
- ⑦ 制度利用の感想、制度に対するご意見、ご要望

## 7 その他

各質問項目において、不明等については集計から除外した。





## Ⅱ 調 査 結 果



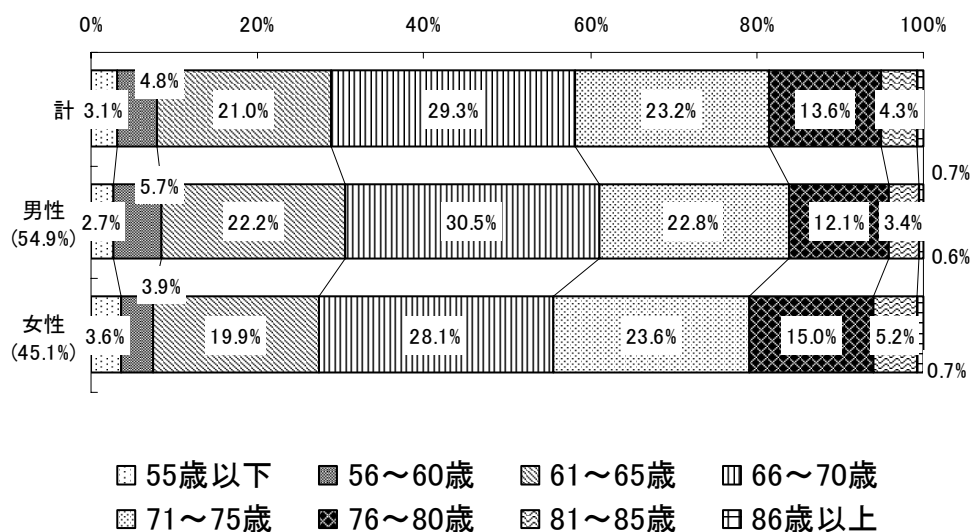
## 1. 回答者の属性等

### 1-1. 回答者の属性

回答者の年齢は全体では、「66～70歳」が29.3%で最も多く、次いで「71～75歳」が23.2%、「61～65歳」が21.0%となっている。60歳以上の人が全体の9割を超えている。

これを男女別でみると、「66～70歳」が男性では30.5%、女性では28.1%と最も多くなっている。また、71歳以上では、いずれも女性が男性よりも多くなっている。

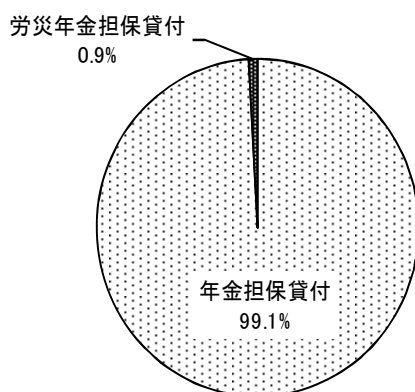
図 1-1 回答者の属性



### 1-2. 利用の制度

利用の制度についてみると、「年金担保貸付制度」は全体の99.1%を占めており、「労災年金担保貸付制度」は0.9%となっている。

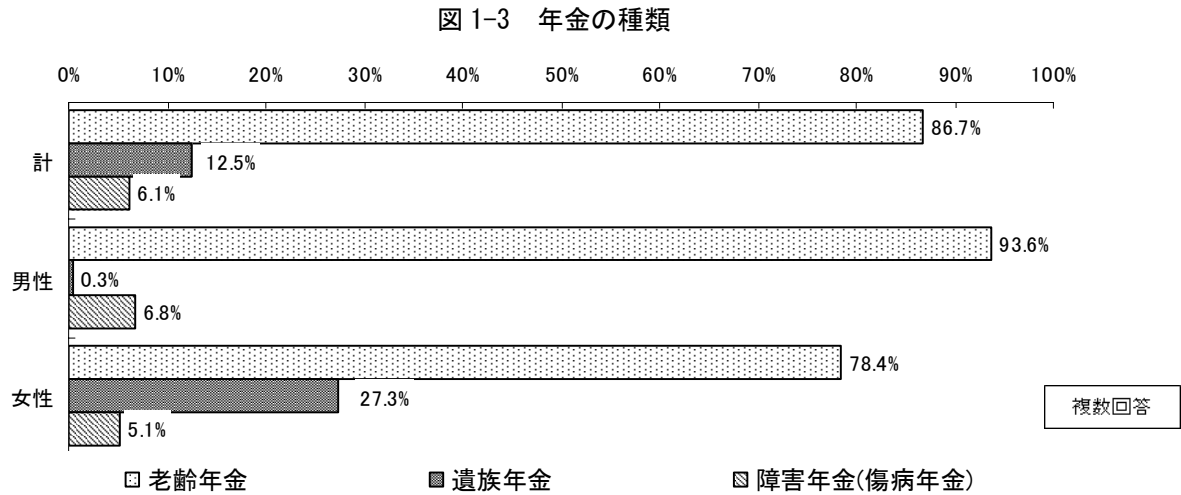
図 1-2 利用の制度



### 1-3. 年金の種類

回答者の年金の種類についてみると、全体の86.7%が「老齢年金」を受給しており、男性では9割以上を占めている。

女性で老齢年金を受給している人の割合は78.4%となっているが、遺族年金の受給者が27.3%を占めている。

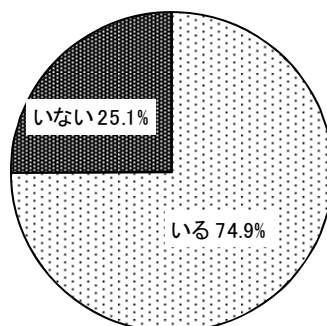


### 1-4. 家族構成

#### (1) 同居者の有無

同居者がいるかどうかについては、「いる」が74.9%、「いない」が25.1%となっており、4人に1人が一人暮らしをしている。

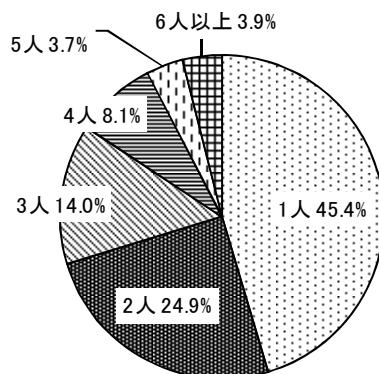
図 1-4-(1) 同居者の有無



## (2) 同居人数

同居者がいると回答した人の同居人数をみると、「1人」が最も多く45.4%を占め約半数となっている。次いで「2人」が24.9%、「3人」が14.0%の順となっている。

図 1-4-(2) 同居人数

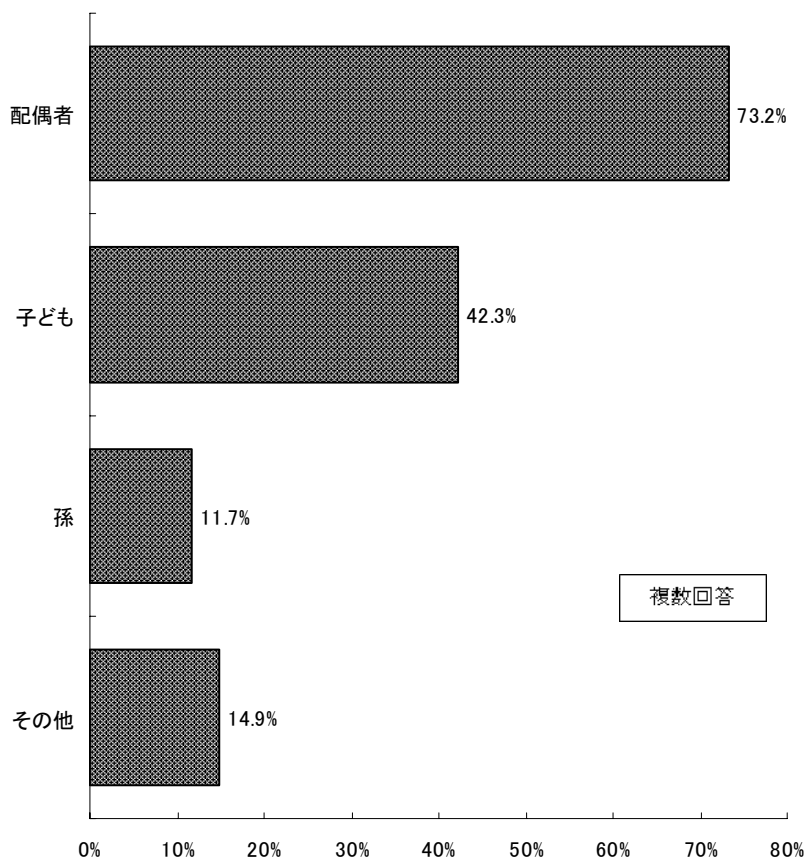


## (3) 同居者との関係

また、同居者がいると回答した人に、具体的な同居者について尋ねると、「配偶者」が約7割、「子ども」が約4割、次いで「孫」が約1割という結果になっている。

また、「その他」として、「親」、「兄弟姉妹」などがみられた。

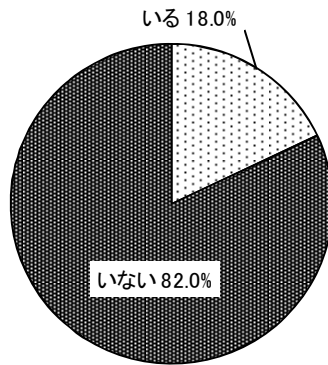
図 1-4-(3) 同居者との関係



### 1-5. 療養介護を要する65歳以上の高齢者の有無

老齢年金又は遺族年金を受給している人に療養介護を要する65歳以上の高齢者の有無について尋ねたところ、全体で約8割が「いない」と回答している。

図1-5 療養介護を要する65歳以上の高齢者の有無



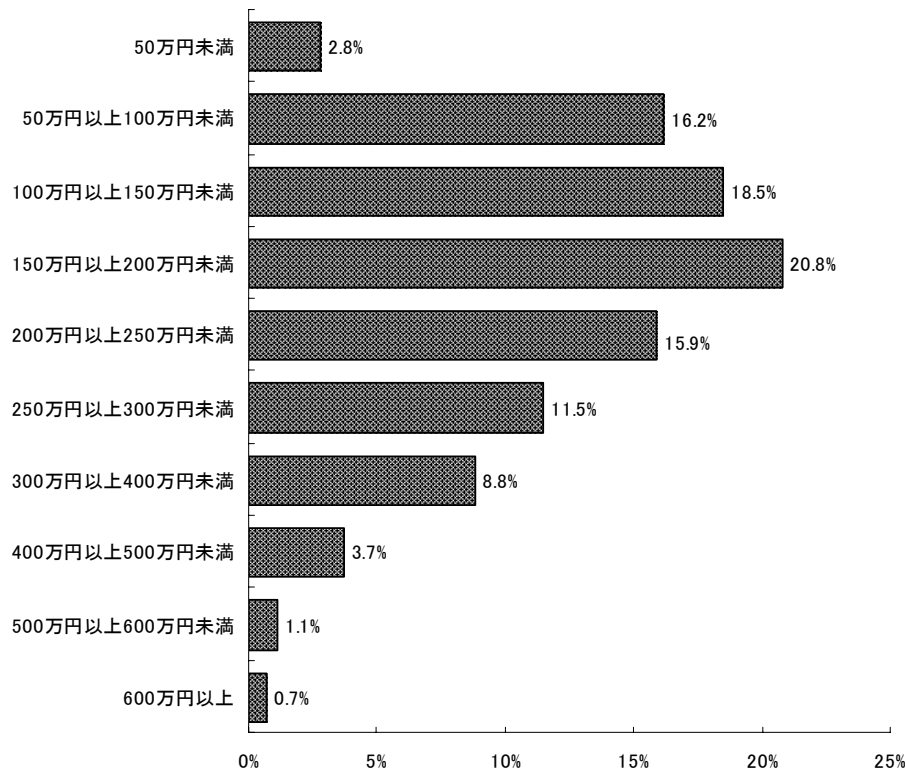
### 1-6. 年間総収入等

#### (1) 年間総収入額

回答者の年間の総収入額については、「150万円以上200万円未満」が20.8%で最も多く、次いで「100万円以上150万円未満」18.5%、「50万円以上100万円未満」16.2%、「200万円以上250万円未満」15.9%の順となっている。

250万円以上の人は、全体の約4分の1となっている。

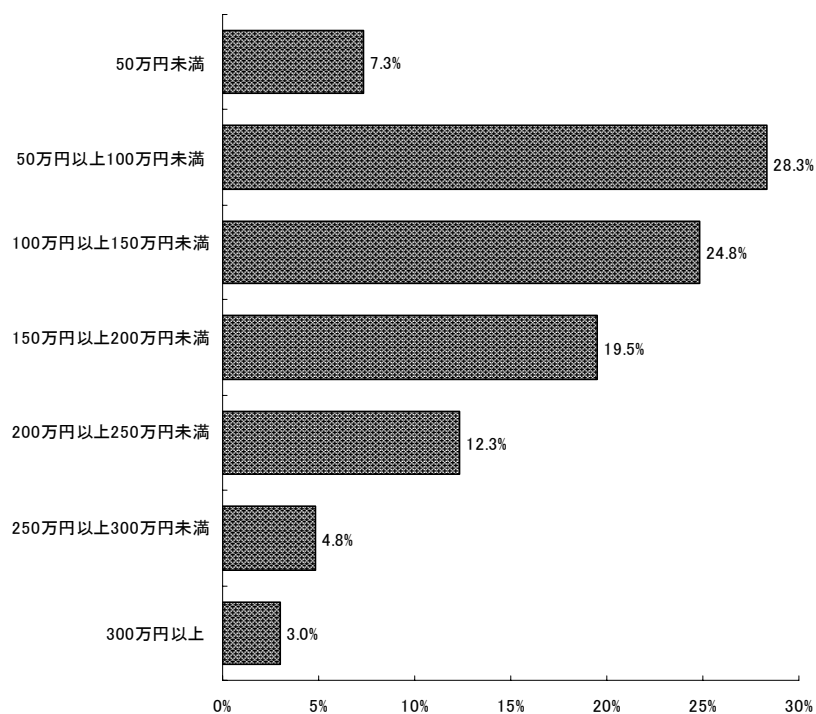
図1-6-(1) 年間総収入額



## (2) 公的年金受給額

次に、回答者の年間の公的年金受給額についてみると、「50万円以上100万円未満」が28.3%で最も多く、次いで「100万円以上150万円未満」24.8%、「150万円以上200万円未満」19.5%、「200万円以上250万円未満」12.3%の順となっており、「250万円以上」は7.8%となっている。

図 1-6-(2) 公的年金受給額

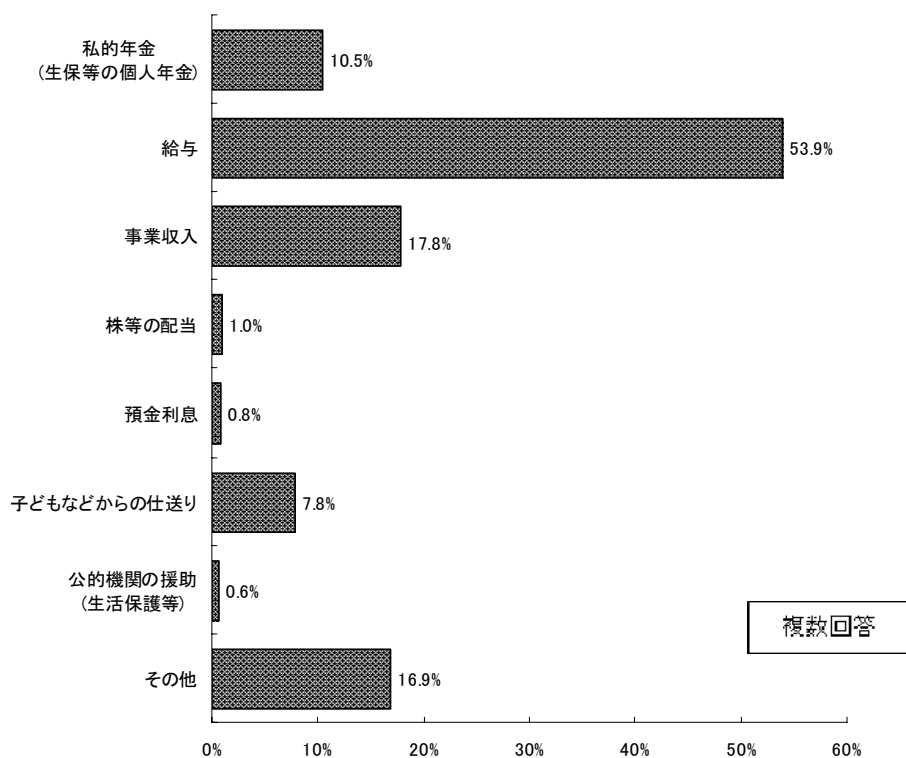


### (3) 公的年金以外の収入

公的年金以外に収入がある場合、その内容を尋ねたところ、「給与」が53.9%と最も多く、次いで、「事業収入」17.8%、「私的年金（生保等の個人年金）」10.5%、「子どもなどからの仕送り」7.8%の順となっている。

また、「その他」として、「パート・アルバイト」、「企業年金等」、「家賃収入」などがみられた。

図 1-6-(3) 公的年金以外の収入

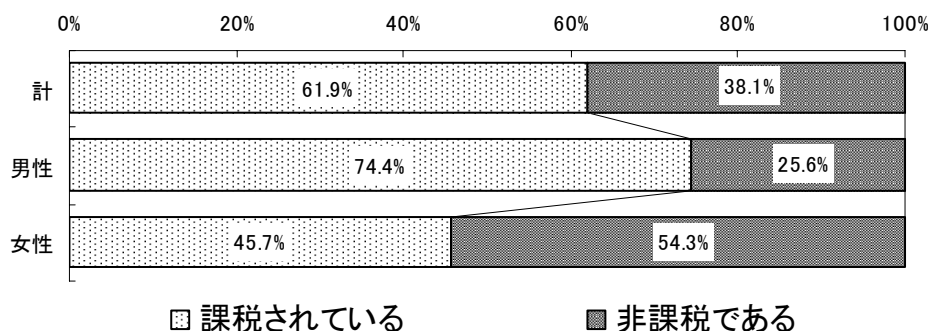


### (4) 市町村民税の課税状況

市町村民税の課税状況については、「課税されている」が61.9%、「非課税である」が38.1%となっている。

また、性別で見ると、男性は「課税されている」が74.4%であるのに対し、女性は45.7%と低い結果となっている。

図 1-6-(4) 市町村民税の課税状況





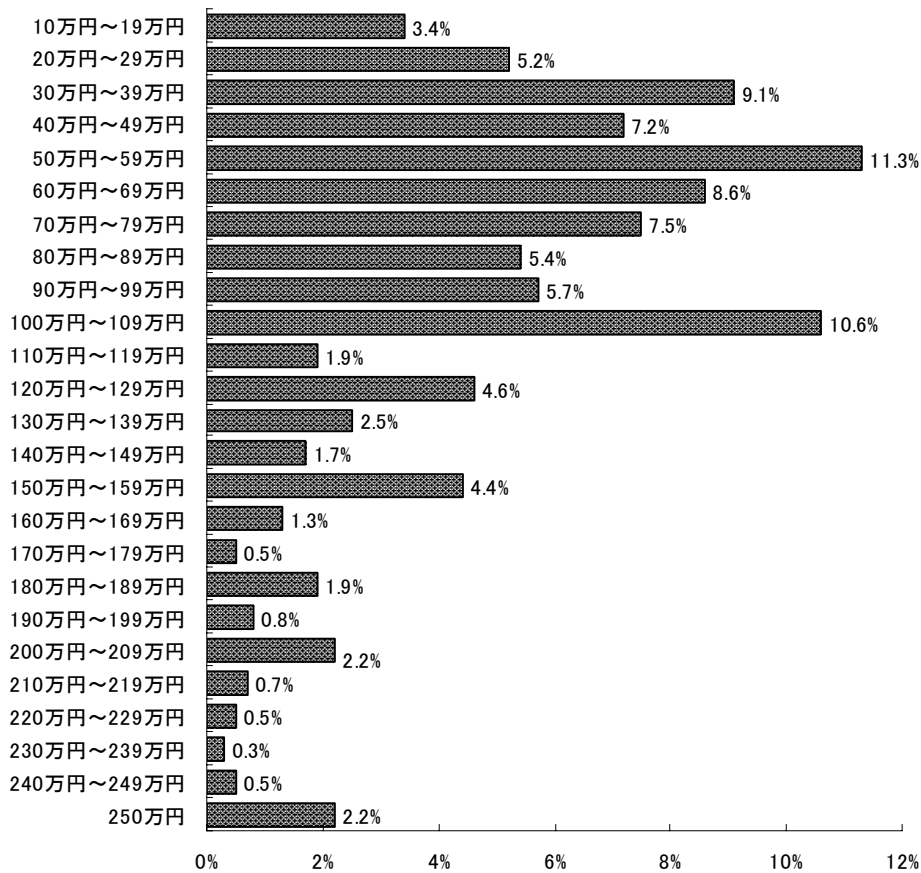
## 1-7. 年金担保貸付の利用状況

### (1) 借入申込金額

借入申込金額は、「50～59万円」が11.3%で最も多く、次いで「100～109万円」が10.6%となっている。以下「30～39万円」が9.1%、「60～69万円」が8.6%と続いている。200万円以上の人は6.4%となっている。

また、平均額は86万円となっている。

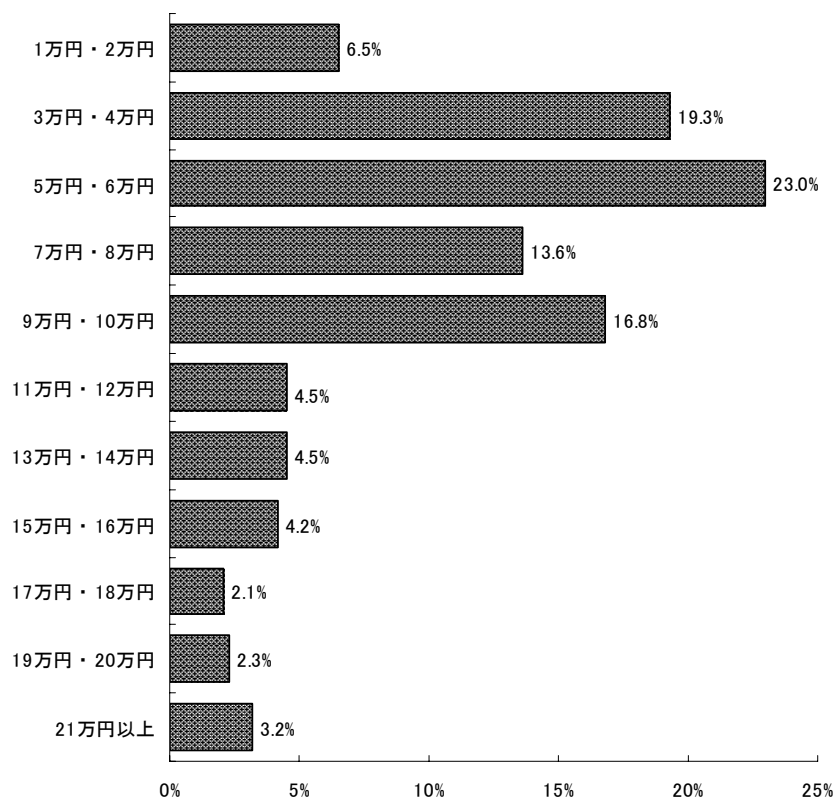
図 1-7-(1) 借入申込金額



## (2) 返済額

借入金の返済は、偶数月に支給される年金から行われるが、毎回の返済額について尋ねたところ、「5万円・6万円」が23.0%と最も多く、次いで「3万円・4万円」が19.3%、「9万円・10万円」が16.8%、「7万円・8万円」が13.6%となっており、平均では8万円となっている。

図 1-7-(2) 返済額

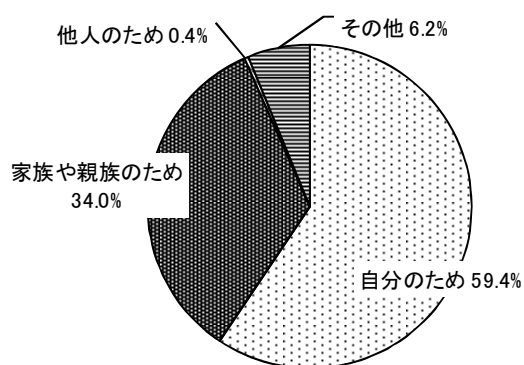


## (3) 借入目的の対象者

今回、主として誰のために借入をするのか尋ねたところ、「自分のため」が59.4%で最も多く、次いで「家族や親族のため」34.0%となっている。

また、「その他」として、「事業のため」などがみられた。

図 1-7-(3) 借入目的の対象者

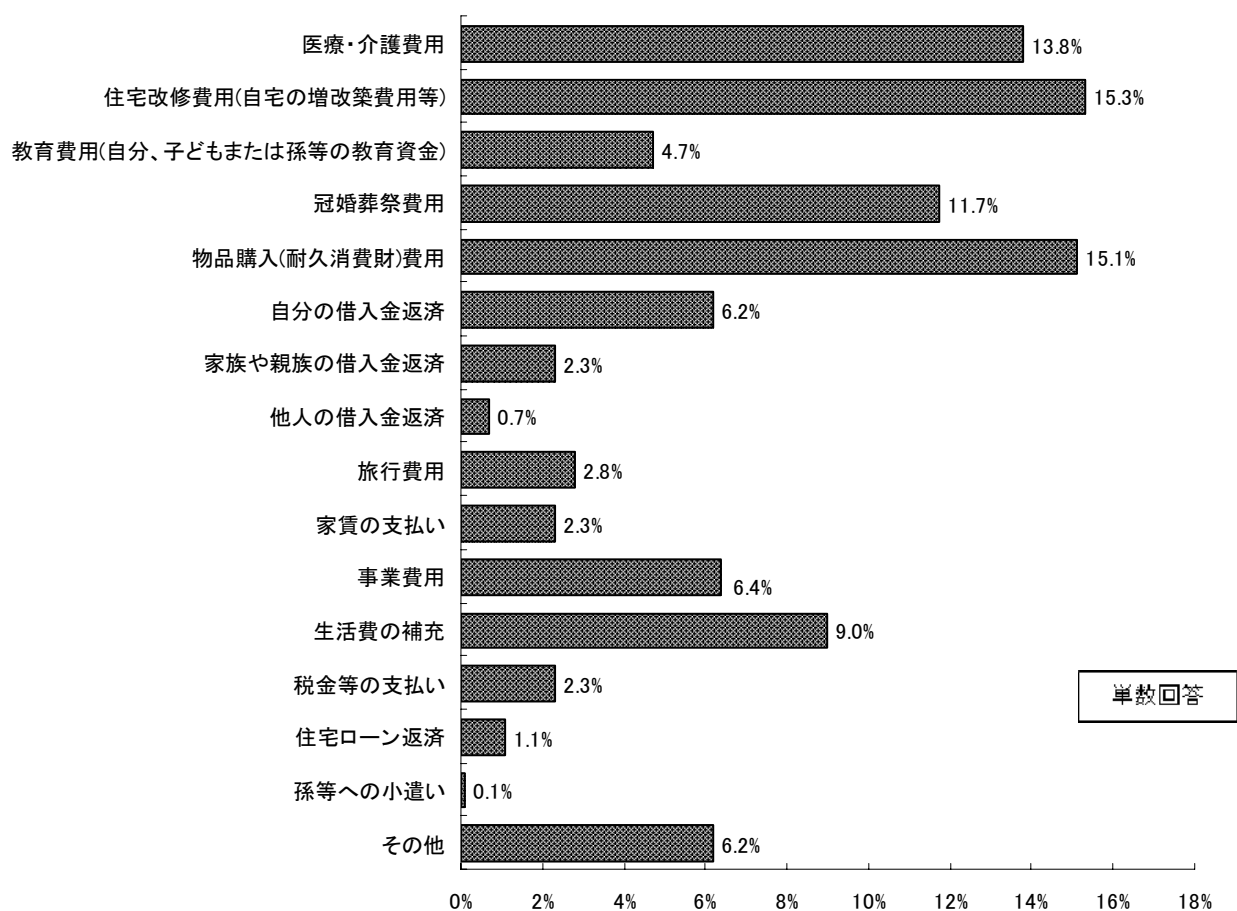


#### (4) 資金の使途

資金の使途としては、「住宅改修費用(自宅の増改築費用等)」が15.3%で最も多く、次いで、「物品購入(耐久消費財)」が15.1%、「医療・介護費用」13.8%、「冠婚葬祭費用」11.7%、「生活費の補充」9.0%、「事業費用」6.4%の順となっており、このほか「自分の借入金返済」6.2%、「教育費用(自分、子どもまたは孫等の教育資金)」4.7%となっている。

また、「その他」として、「車検費用」、「引越費用」などがみられた。

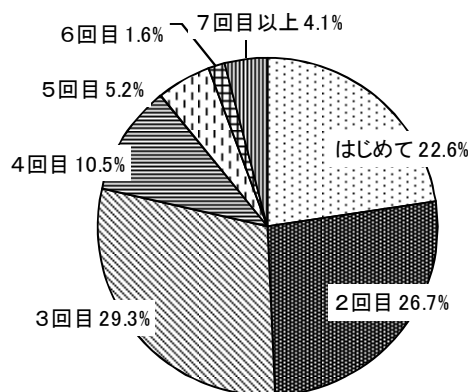
図 1-7-(4) 資金の使途



### (5) 利用回数

年金担保貸付の利用経験については、今回の借入が「3回目」が29.3%で最も多く、次いで「2回」26.7%、「はじめて」22.6%の順となっている。

図 1-7-(5) 利用回数

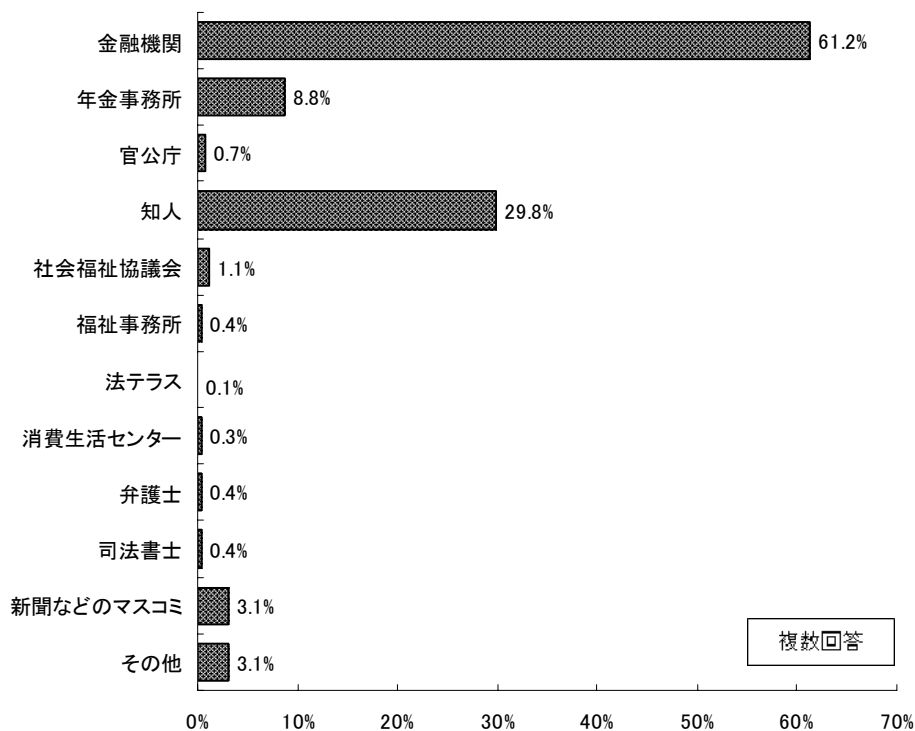


### 1-8. 年金担保貸付制度の情報入手経路

年金担保貸付制度の情報入手経路については、「金融機関」が最も多く61.2%と全体の6割を超えている。次いで「知人」29.8%、「年金事務所」8.8%「新聞などのマスコミ」3.1%の順となっている。

また、「その他」として、「年金振込通知書の記載」、「親族」などがみられた。

図 1-8 年金担保貸付制度の情報入手経路

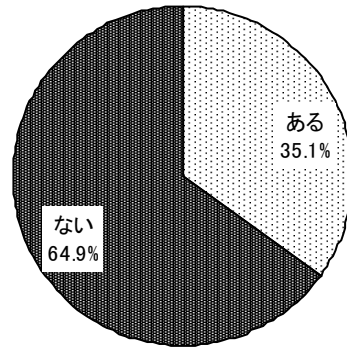


## 1-9. 年金担保貸付以外の借入状況

### (1) 年金担保貸付以外の借入状況

年金担保貸付以外にも借入がある人は全体で約4割近くを占めている。

図 1-9-(1) 年金担保貸付以外の借入状況

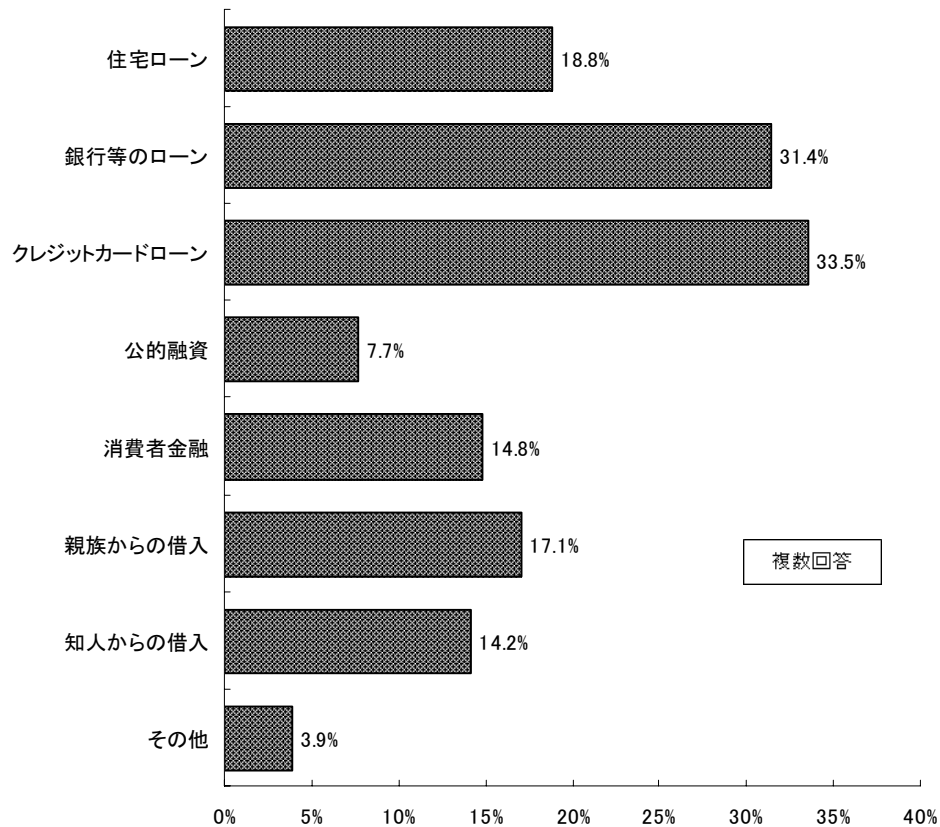


### (2) 年金担保貸付以外の借入先

年金担保貸付以外に借入があると回答した人に、その借入先を尋ねたところ、全体では「クレジットカードローン」が33.5%と最も多く、次いで「銀行等のローン」が31.4%、「住宅ローン」18.8%、「親族からの借入」17.1%の順となっている。

また、「その他」として、「生命保険からの借入」などがみられた。

図 1-9-(2) 年金担保貸付以外の借入先

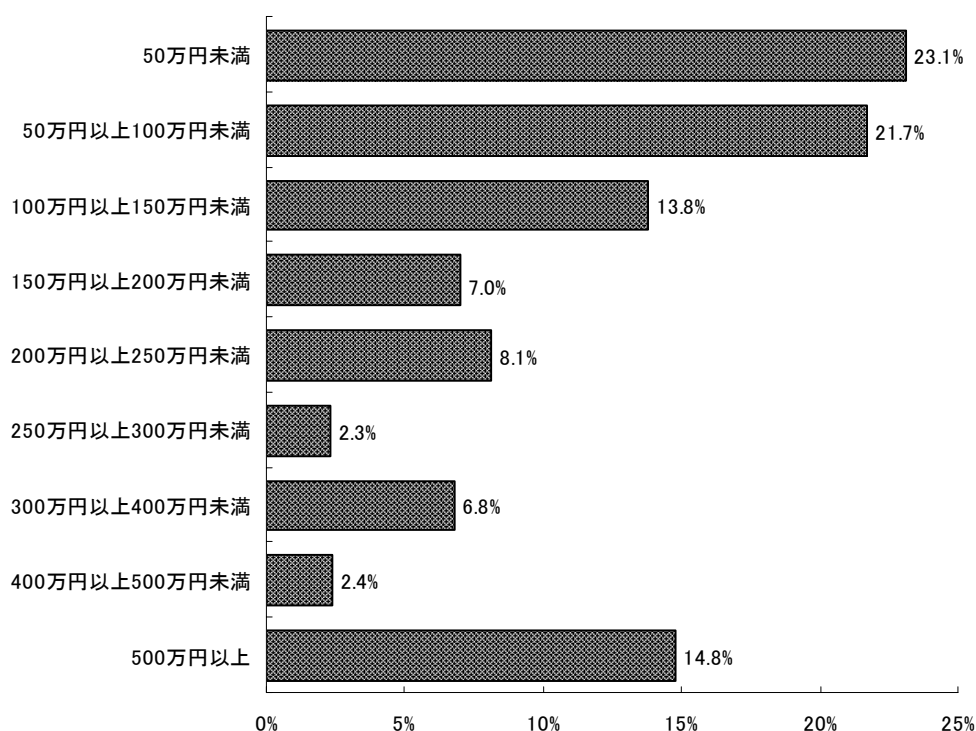


### (3) 年金担保貸付以外の借入金額

年金担保貸付以外の借入金額についてみると、「50万円未満」が23.1%で最も多く、次いで「50万円以上100万円未満」21.7%で、100万円未満が合わせて約5割を占めている。

一方で、「500万円以上」の借入も全体の約15%を占めている。

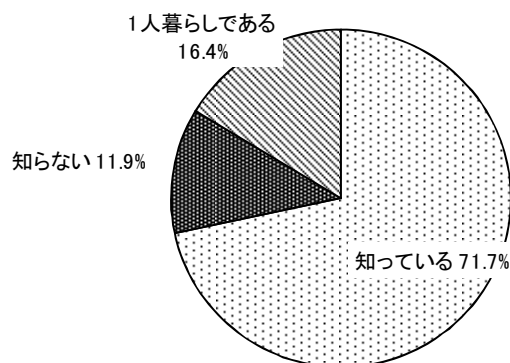
図1-9-(3) 年金担保貸付以外の借入金額



### 1-10. 家族の借入申込の認知

借入申込について家族が認知しているかどうかの質問に対し、71.7%が「知っている」と回答している。一方、1割を超える11.9%が「知らない」と回答しており、「1人暮らしである」と合わせて約3割が自身のみでの借入申込となっている。

図1-10 家族の借入申込の認知



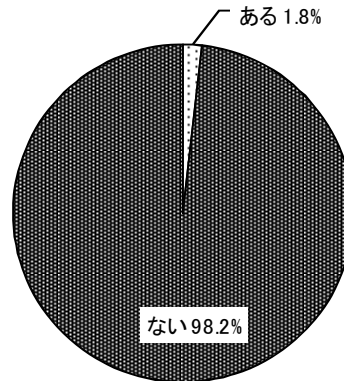
## 1-11. 借入経験者の生活保護受給状況

### (1) 生活保護の受給経験

年金担保貸付の利用が2回目以上の人に、過去、年金担保貸付を利用後に、生活保護を受給した経験があるか否かを尋ねたところ、大部分の98.2%が「ない」と回答している。

なお、受給経験の「ある」人は全体の1.8%となっている。

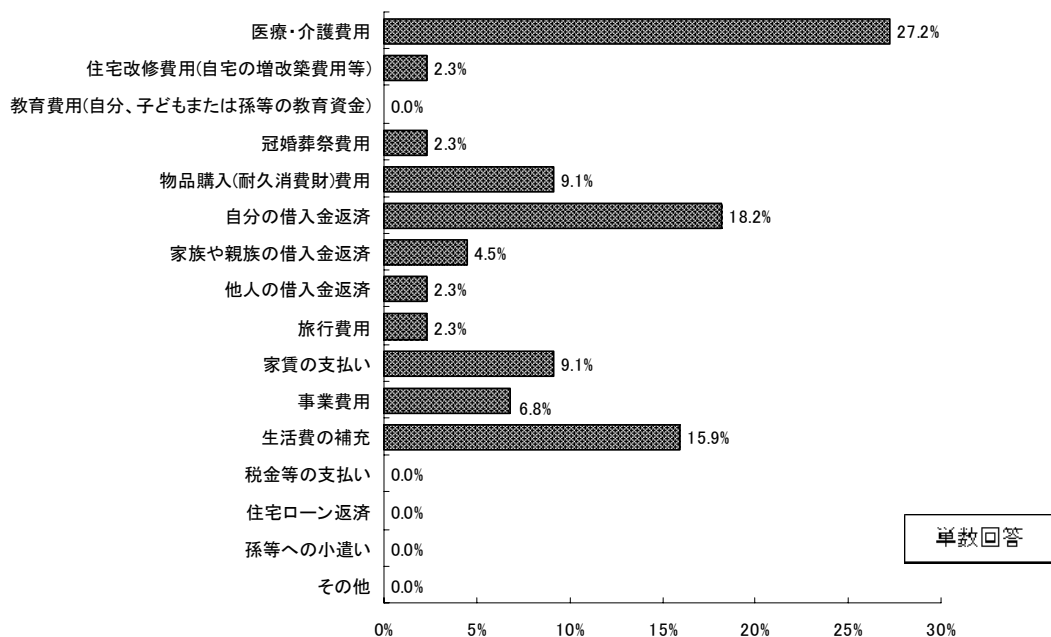
図 1-11-(1) 生活保護の受給経験



### (2) 生活保護の受給者に係る資金使途

生活保護を受給した経験のある人に対し、その際の資金使途を尋ねたところ、「医療・介護費用」が27.2%で最も多く、次いで、「自分の借入金返済」18.2%、「生活費の補充」が15.9%、「物品購入(耐久消費財)費用」「家賃の支払い」9.1%、「事業費用」6.8%の順となっている。

図 1-11-(2) 生活保護の受給者に係る資金使途

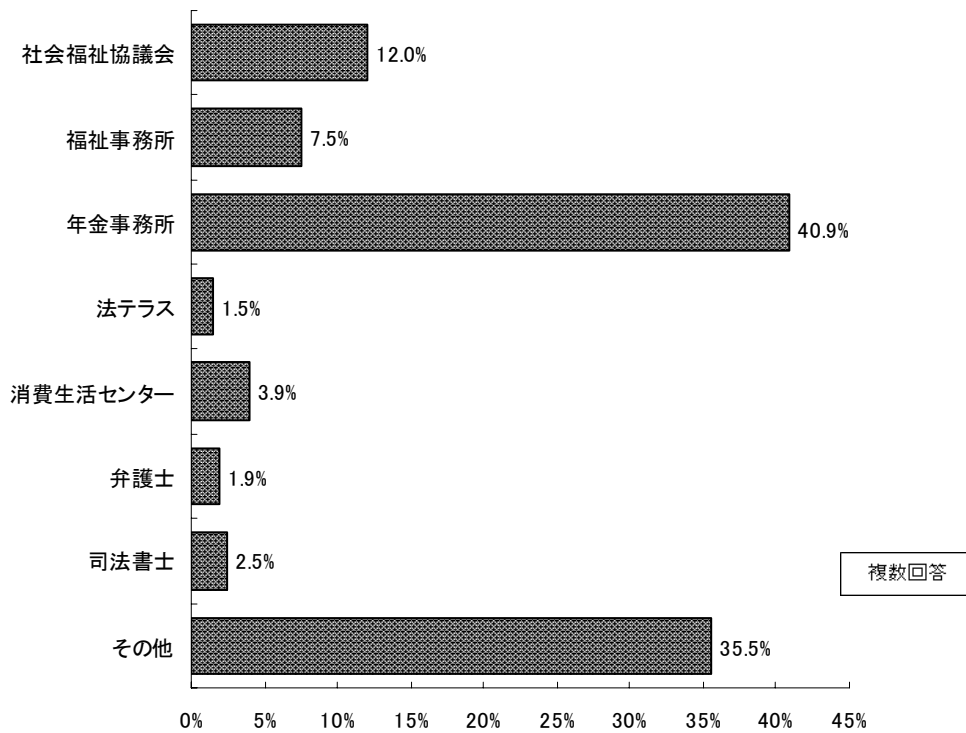


### 1-12. 申込みに当たっての相談先

今回の借入申込前に、相談した機関について尋ねたところ、「年金事務所」が40.9%で最も多くなっている。次いで、「社会福祉協議会」が12.0%、「福祉事務所」が7.5%となっている。

また、「その他」としては、「知人・家族」、「区役所」などがみられた。

図 1-12 申込みに当たっての相談先





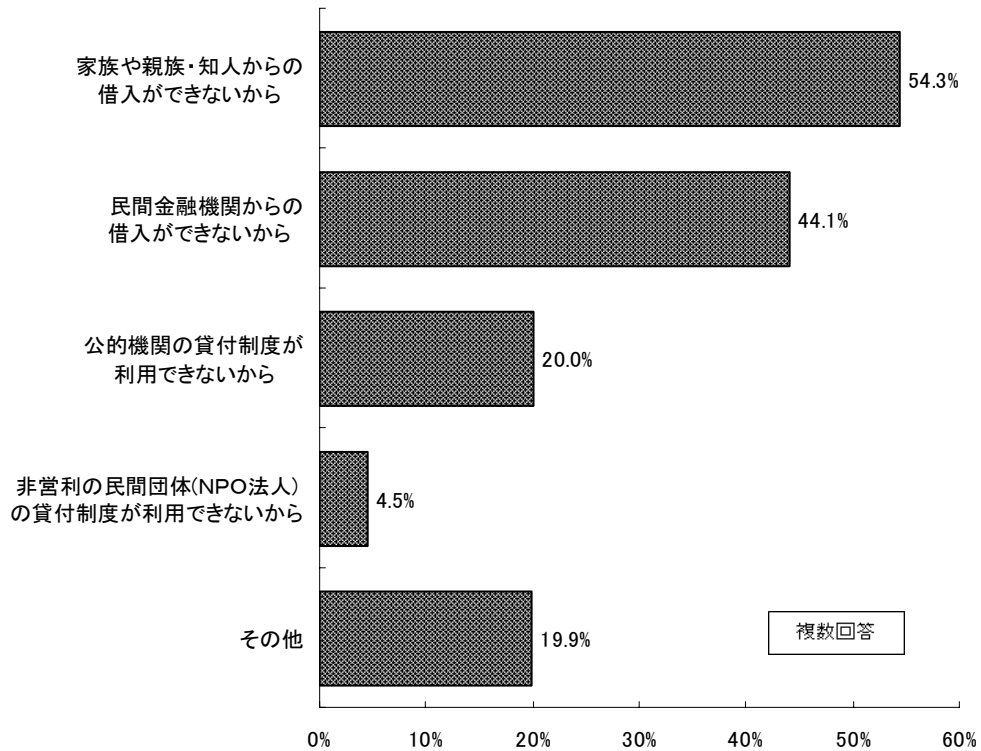
## 2. 年金担保貸付利用に係る評価等

### 2-1. 年金担保貸付利用の背景

今回、年金担保貸付を利用することになった背景としては、「家族や親族・知人からの借入ができないから」が54.3%と最も多く、次いで「民間金融機関からの借入ができないから」44.1%、「公的機関の貸付制度が利用できないから」20.0%となっている。

また、「その他」として、「他人（親族を含む）に迷惑をかけたくないから」などがみられた。

図 2-1 年金担保貸付利用の背景

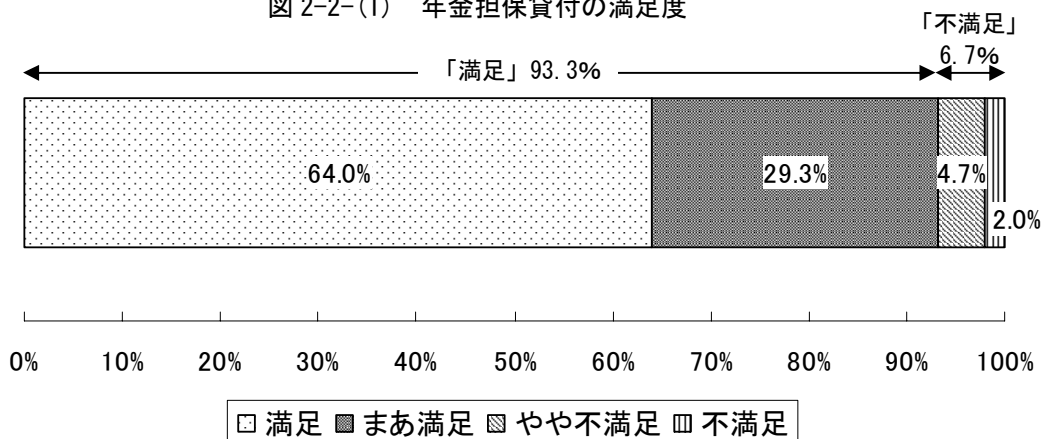


### 2-2. 年金担保貸付制度の満足度

#### (1) 年金担保貸付制度の満足度

年金担保貸付制度に関する満足度について尋ねたところ、64.0%の人が「満足」と回答しており、「まあ満足(29.3%)」と合わせた値は93.3%となっており、大部分の人が制度に「満足」している。

図 2-2-(1) 年金担保貸付の満足度

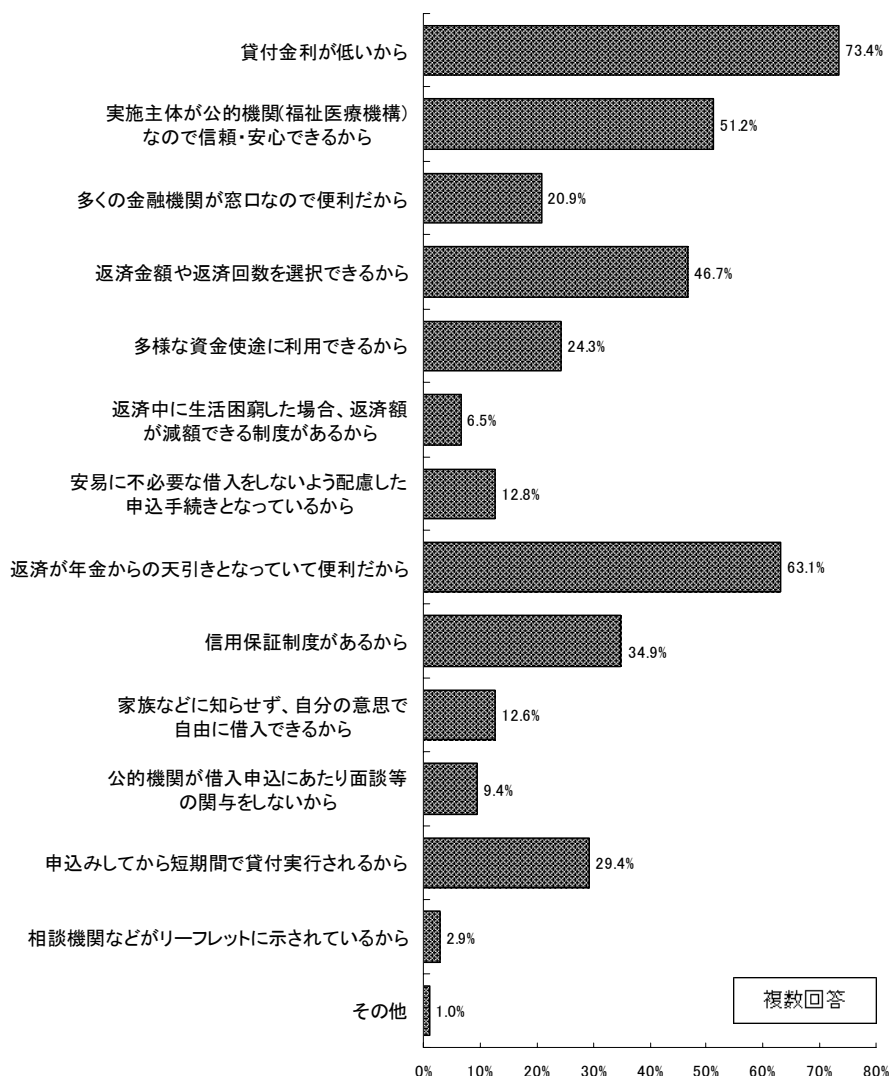


## (2) 満足の理由

年金担保貸付制度に「満足」又は「まあ満足」と回答した人に対し、その理由を尋ねたところ、「貸付金利が低いから」が73.4%と最も多くなっている。次いで、「返済が年金からの天引きとなっていて便利だから」が63.1%、「実施主体が公的機関(福祉医療機構)なので信頼・安心できるから」が51.2%、「返済金額や返済回数を選択できるから」46.7%、「信用保証制度があるから」が34.9%、「申込みしてから短期間で貸付実行されるから」が29.4%と続いている。

また、「その他」として、「金融機関が親切だから」などの回答がみられた。

図 2-2-(2) 満足の理由

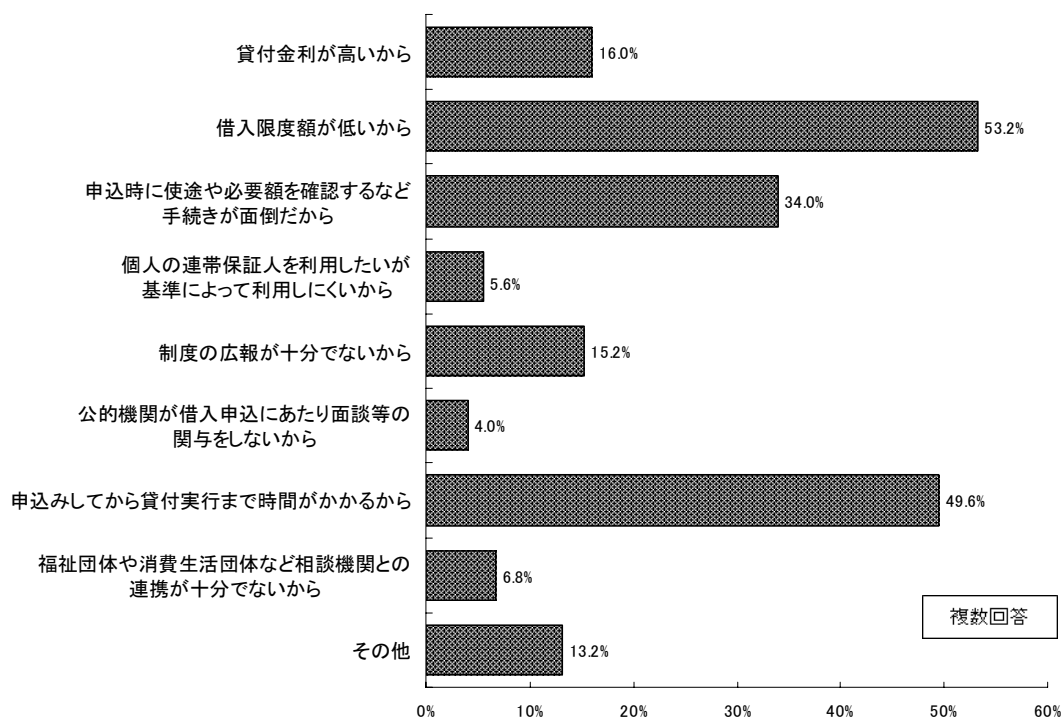


### (3) 不満の理由

年金担保貸付制度について、「不満」又は「やや不満」と回答した人に対し、その理由を尋ねたところ、「借入限度額が低いから」が53.2%で最も多くなっている。次いで、「申込みしてから貸付実行まで時間がかかるから」が49.6%、「申込時に用途や必要額を確認するなど手続きが面倒だから」34.0%、「貸付金利が高いから」16.0%、「制度の広報が十分でないから」15.2%と続いている。

また、「その他」として、「返済期間が短い」などの意見がみられた。

図 2-2-(3) 不満の理由

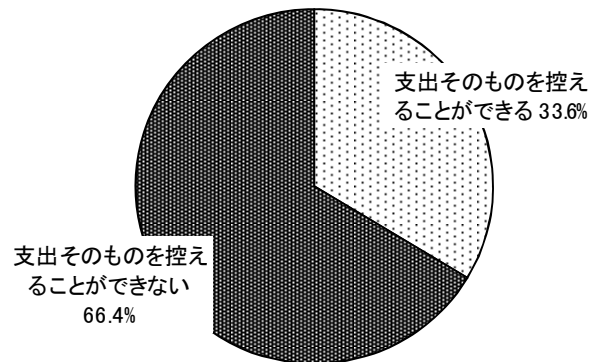


## 2-3. 年金担保貸付制度がない場合の状況

### (1) 年金担保貸付制度がない場合の支出の変化

今回の借入において、仮に年金担保貸付制度がないとした場合、支出を抑えることができるか尋ねたところ、「支出そのものを抑えることができる」が 33.6%に対し、「支出そのものを抑えることができない」が 66.4%と約7割が支出を減らせないと回答している。

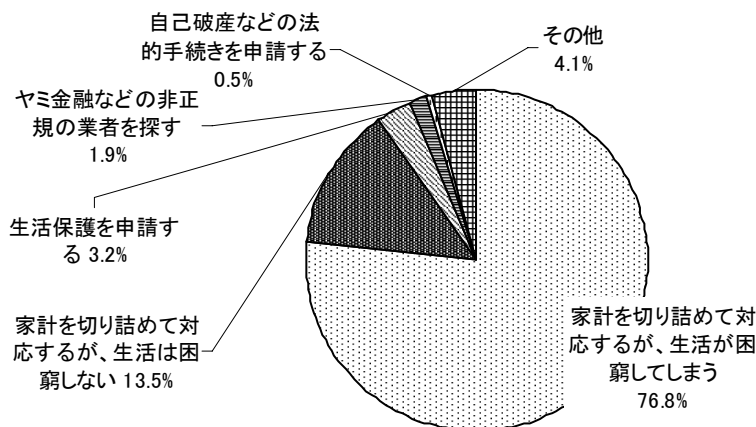
図 2-3-(1) 年金担保貸付制度がない場合の支出の変化



### (2) 支出を抑えることができない場合の対応

前問において、支出を抑えることができないと回答した人に対し、その場合の具体的な対応について尋ねたところ、76.8%が「家計を切り詰めて対応するが、生活が困窮してしまう」と回答しており、「生活保護を申請する」人(3.2%)等と合わせて、約8割が生活の困窮化を訴えている。また、「ヤミ金融などの非正規の業者を探す」人も 1.9%存在している。

図 2-3-(2) 支出を抑えることができない場合の対応

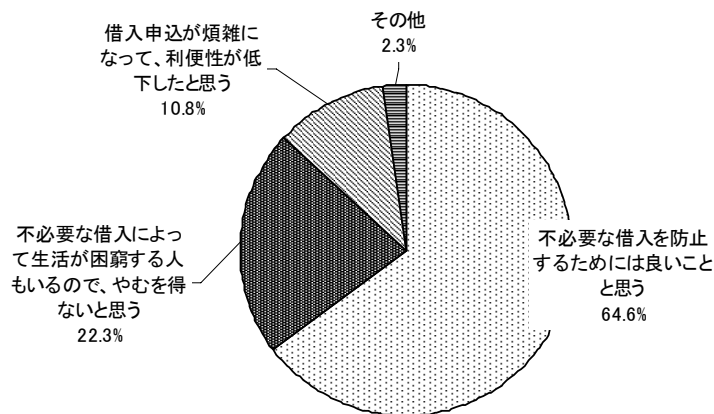


## 2-4. 平成22年2月の制度取扱変更に係る評価

### (1) 資金使途や必要金額、支払予定時期の記載

平成22年2月の制度取扱変更においては、不必要な借入を防ぐために、借入申込書への『資金使途や必要金額、支払予定時期の記載』を導入したが、これについては、「不必要な借入を防止するためには良いことと思う」が64.6%、「不必要な借入によって生活が困窮する人もいるのでやむを得ないと思う」が22.3%となっており、全体の9割近くが取扱変更について理解を示す結果となっている。

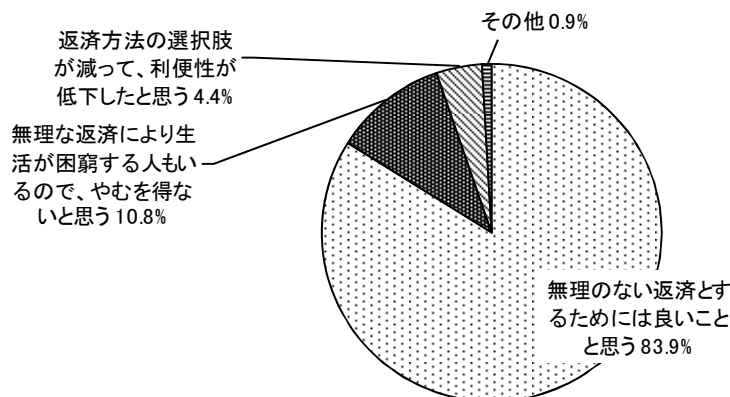
図2-4-(1) 資金使途や必要金額、支払予定時期の記載



### (2) 満額返済の廃止

平成22年2月の制度取扱変更においては、利用者にとって無理のない返済とするために、『年金受給額全額を返済に充てる方法（満額返済）を廃止』したが、これについては、「無理のない返済とするためには良いことと思う」が83.9%、「無理な返済により生活が困窮する人もいるので、やむを得ないと思う」が10.8%と全体の約95%が理解を示す結果となっている。

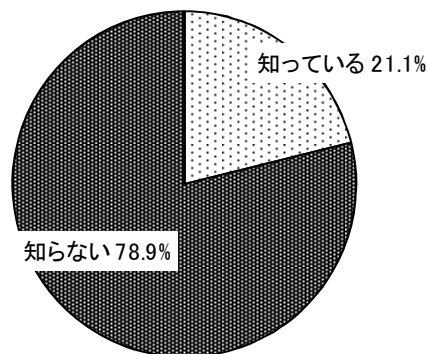
図2-4-(2) 満額返済の廃止



### (3) 貸付条件変更制度の認知

平成 22 年 2 月の制度取扱変更においては、返済中に生活が困窮した場合、一回の返済額を減らすことができる『貸付条件変更制度』を導入したが、その認知については、「知らない」が 78.9%となっており、「知っている」21.1%を大きく上回る結果となっている。

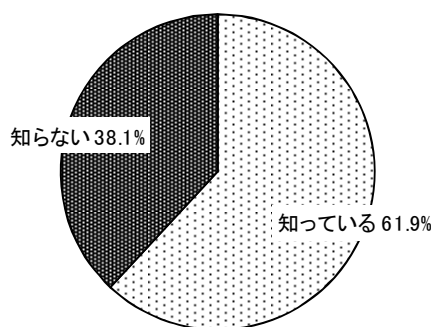
図 2-4-(3) 貸付条件変更制度の認知



### 2-5. 独立行政法人福祉医療機構以外での年金担保貸付の禁止

独立行政法人福祉医療機構以外では年金の受給権を担保とした貸付を行うことが法律において禁止されているが、そのことについて、「知っている」人は 61.9%と過半数を超えており、「知らなかった」人は 38.1%となっている。

図 2-5 独立行政法人福祉医療機構以外での年金担保貸付の禁止に関する認知

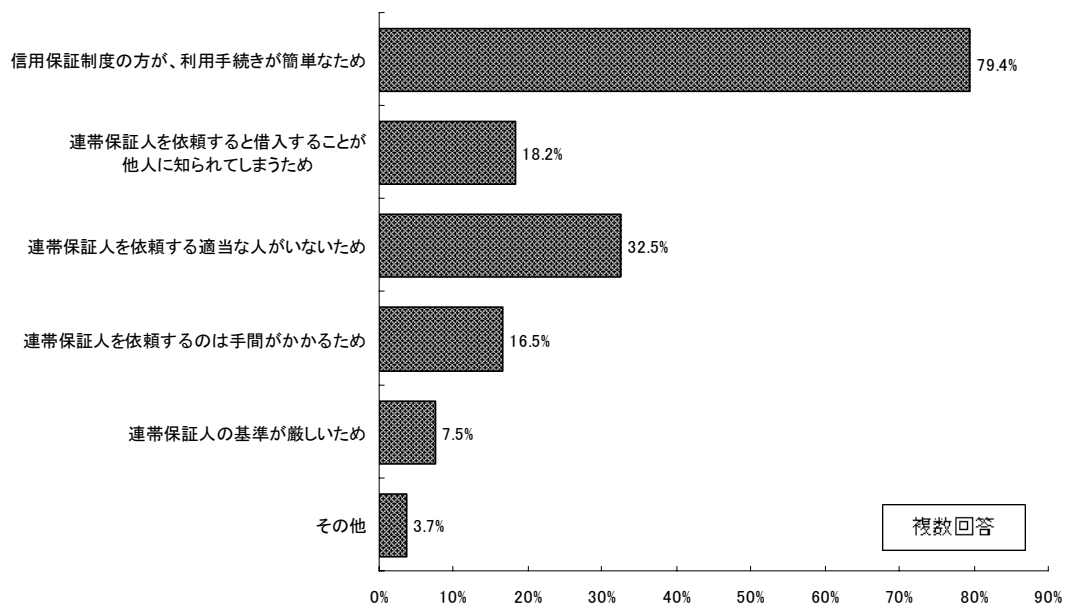


## 2-6. 信用保証制度の利用理由

今回の借入に当たり、信用保証制度を利用した人にその理由を尋ねたところ、「信用保証制度の方が、利用手続きが簡単なため」が79.4%と最も多くなっている。次いで、「連帯保証人を依頼する適当な人がいないため」が32.5%、「連帯保証人を依頼すると借入することが他人に知られてしまうため」が18.2%、「連帯保証人を依頼するのは手間がかかるため」が16.5%、「連帯保証人の基準が厳しいため」が7.5%となっている。

また、「その他」として、「他人に迷惑をかけないで済むから」などの回答がみられた。

図 2-6 信用保証制度の利用理由

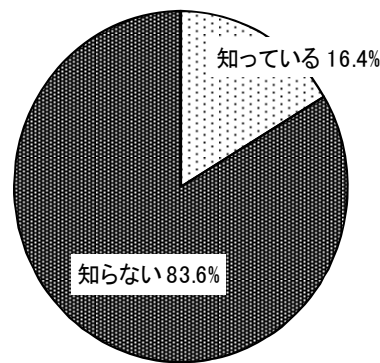


## 2-7. 生活福祉資金

### (1) 生活福祉資金制度の認知

各地域の社会福祉協議会には、低所得者世帯や障害者世帯、高齢者世帯の経済的自立を図るために、日常生活を送る上で一時的に必要な費用（入院費や冠婚葬祭費など）について無利子または低利で貸し付ける「生活福祉資金」制度があるが、同制度の認知について尋ねたところ、「知らない」が83.6%と、「知っている」の16.4%を大きく上回る結果となった。

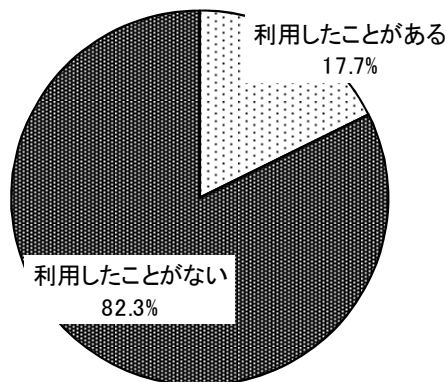
図 2-7-(1) 生活福祉資金制度の認知



### (2) 生活福祉資金制度の利用経験

生活福祉資金を「知っている」と回答した人に対し、その利用経験について尋ねたところ、「利用したことがない」が82.3%となっており、「利用したことがある」は17.7%となっている。

図 2-7-(2) 生活福祉資金制度の利用経験

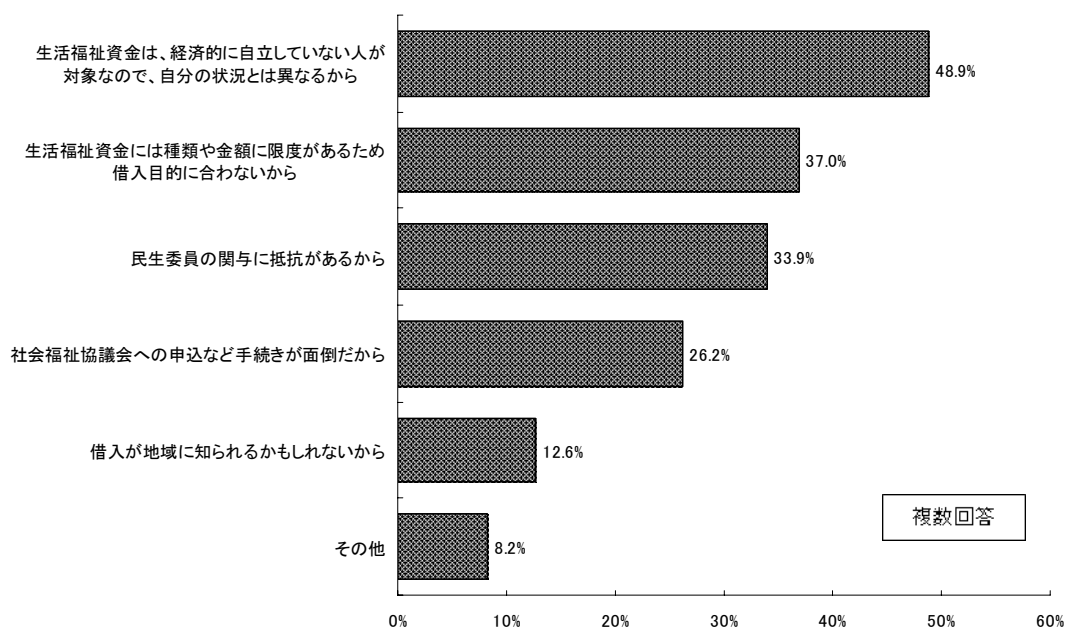




### (3) 今回、年金担保貸付を利用した理由

生活福祉資金を「知っている」と回答した人に対し、今回、同制度を利用せずに年金担保貸付を利用した理由について尋ねたところ、「生活福祉資金は、経済的に自立していない人が対象なので、自分の状況とは異なるから」が48.9%と最も多くなっており、次いで、「生活福祉資金には種類や金額に限度があるため借入目的に合わないから」が37.0%、「民生委員の関与に抵抗があるから」が33.9%、「社会福祉協議会への申込など手続きが面倒だから」が26.2%、「借入が地域に知られるかもしれないから」が12.6%となっている。

図 2-7-(3) 年金担保貸付を利用した理由



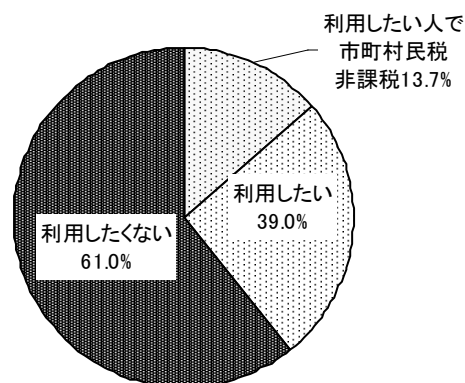
### (4) 生活福祉資金の利用意向

借入申込者全員に対して、今後の生活福祉資金の利用意向について尋ねたところ、「利用したい」は39.0%に止まり、「利用したくない」は61.0%となっている。

なお、「利用したい」と回答した人で、市町村民税が非課税の人は、借入申込者全体に占める割合では13.7%となっている。

また、生活福祉資金は資金用途等に係る要件があるので、これらの人すべてが利用し得るものではない。

図 2-7-(4) 生活福祉資金の利用意向



## 2-8. 年金担保貸付制度に関するご意見・ご要望（自由記載）

※ 年金担保貸付制度に関するご意見、ご要望として寄せられた1,402件について、以下のとおり区分整理し、主な事案とともに紹介するものである。

### 制度を利用して良かったこと（300件）

#### （急な出費に対応できた）

- ・急を要する時には、貯蓄のない者や借入ができない者には救われる。
- ・まとまったお金が必要な時に、借入手続きも簡単で、無理なく返済できる。

#### （医療費）

- ・娘が心臓病、バセドー病、糖尿病等多くの病気で手術や入院費がかかり、その費用に年金担保貸付を充てている。お金の心配なく入院手術を受けさせることができる。自分の子どものために年金を使ってあげられることと、子どもを助けてあげられることに心より安堵し、ありがたい制度だと思っている。
- ・医者から手術を勧められたが、年金収入のみであったことから入院費のことが心配になったため、この制度を利用した。借入ができない場合は、手術が当分できないため、今後の生活が不安である。
- ・息子が難病と診断され化学療法による治療を勧められたが、多額の治療費がかかり困っていたところ、この制度を知り利用した。
- ・障害があるため他人の手を借りなければ生活ができないので、入院したときは個室になる。手術などで長期間入院するときは、個室代に加え、付添者への支払いも必要なため、年金担保で借入ができると助かる。

#### （教育資金）

- ・この制度で借入し、孫の学資として援助している。今後も学校終了まで続けたい。
- ・大学生と高校生の二人の孫の授業料納付が迫っており、納付も遅れていたため、借入できて助かった。
- ・母子家庭で、娘は二種身体障害者であることから、私の年金が生活のもとである。孫がどうしても大学院に進みたいとのことなので、借入申込をした。ぎりぎりの生活であるが、教育だけは受けさせたいと願うのは贅沢なことでしょうか。

#### （冠婚葬祭）

- ・亡妻の七回忌により墓の新設等にて大口（100万円）の支払い予定があったが、借入により一括で支払いができた。
- ・現在無職状態で、兄が死亡した際も葬儀に行けなかったが、今回の借入により墓参りができる。
- ・高齢で年金の他に収入もなく、夫が長期入院し死亡したため、葬儀費用や寺への出費などが必要になったが、自分自身の医療費等もあり困っていたところ、この貸付が受けられるようになり安心している。

### **(住居費)**

- ・家屋の雨漏りやボイラーの故障などがあると金額が大きいので、この制度を利用した。
- ・住宅改修するには自己資金では足りず、金融機関に相談した際にこの制度を紹介され、利用した。
- ・住居も古くなり、これまで少しずつ修理をしてきたが、今回は大きな修理が必要であるが銀行等からの借入は難しいため、この制度を利用した。
- ・2回の地震で住宅の応急修理にこの制度を利用して、現在は通常の生活ができるようになった。

### **(保険料・税金等の支払い)**

- ・所得が減り国民健康保険、介護保険の支払ができなくなっていたが、借入により滞納していた保険料を支払うことができた。
- ・住民税、後期高齢者医療保険、介護保険等を滞納していたが、借入により支払うことができる。

### **(物品購入)**

- ・自動車を購入するにあたり、高齢になるとローンが組めないため困っていたが、この借入により購入できた。
- ・高齢により、ローンもクレジットも使えないため、どうしても必要なテレビや冷蔵庫など高価な品を購入するには、この借入が必要となる。
- ・収入は年金のみでぎりぎりの生活であるが、この度の地デジ化に伴い新しいテレビを、また年齢的なことから電動ベッドを買いたいと思い借入した。少ない返済金で大きな買い物ができてとても助かっている。

### **(事業資金)**

- ・夫の死後、独立開業し、周囲の支援もあって順調であったが、この不況下で経営も悪化し、保証人がいない等の理由で寡婦（未亡人）への審査がとても厳しく他では借りられないことから、この制度を利用し何とか持ちこたえている。
- ・農業者にとって、農業収入が入るまでの期間が無収入のため、そのつなぎに利用できて大変ありがたい。

### **(借入金借り換え)**

- ・自分のために購入した健康食品や健康器具のクレジットの金利が高いため、借入により借り替えた。
- ・連帯保証人の債務として残高があり、消費者金融等の返済に困っていたため、この借入により一括処理できた。
- ・妻が癌で長期入院し治療費などでカードローン等の借入が膨らんだため、借入により借り換えし、金利負担を少なくすることができた。

### **(無理のない返済ができる)**

- ・今回（平成22年2月）の制度見直しにより、満額返済が廃止され偶数月にも年金が入金されるので必要な経費に充当できるようになり、よい改善であると思う。

- ・今回の制度見直しにより、一定額を返済に充てることで2ヶ月に一度ある程度の収入があり、安心して生活が送れる。
- ・借入金の返済が年金から差し引かれるため、確実に返済でき安心できる。
- ・返済額、返済期間等、自分で返済可能な範囲で借入できる。

### 制度を利用して困ったこと（15件）

- ・借入後、返済期間中は介護保険、健康保険等を年金から差し引いてもらえなくなるため、自分で納付しなければならない。
- ・年金担保貸付利用期間中は、年金事務所等からの年金支給通知等が送られてこないため、不便を感じる。
- ・返済の途中で再借入ができないことが不便を感じる。

### 制度に対するご意見（432件）

#### （広報が足りない）

- ・年金担保貸付制度はこれから利用が増えると思われるので、制度自体の広報を強化して多数の人に認知してもらう必要がある。
- ・年金担保貸付制度は、広報不足で一部の人しか知らない。

#### （高齢者、低所得者には助かる）

- ・高齢者や低所得者は、銀行等からの借入が困難なため、この制度がないとヤミ金を利用する人が増えると思う。
- ・高齢者になると、年齢的な問題で銀行からの借入ができなくなり、どうしても資金が必要な時には消費者金融に頼らなければならなくなる。しかし、貸金業法改正により、借入の総量規制で新規借入ができなくなっていることから、この制度があることで助かる。

#### （他人に迷惑をかけない、人に知られずに借りられる）

- ・家族、他人には迷惑を掛けられないので、自分自身の年金を担保に借入でき助かる。
- ・高齢者には銀行等が融資してくれないため、緊急時は非常に困るが、親族や友人には借入を申し込みたくないため、この制度は非常にありがたい。
- ・他人に相談することなく、自分の収入の中で借入、返済ができ、迷惑をかけることがない。

#### （金利が低い）

- ・金利が低く、利用しやすい。金融業者の高い利息で借入しなくてすむ。
- ・金利が低いので資金計画が無理のないようにできる。

#### （信用保証制度）

- ・連帯保証人などで人に迷惑をかけず、自己責任で借りられる制度なのでよかった。
- ・連帯保証を信用保証機関に依頼でき、団体信用生命保険制度もあることから、他人に迷惑をかけない。

- ・信用保証料が高い。

#### **(その他)**

- ・年金担保貸付制度のおかげで生活保護を受けることなく過ごせる。
- ・社会福祉協議会に相談に行ったが、生活保護を受けなさいといわれた。ある程度のお金があれば何とか生活を安定できる、また生活を立て直すこともできると思ったので年金担保融資を利用した。生活保護は国にお金を貰っていることなので、少し抵抗があった。
- ・消費者金融等からの借入は怖くてできないため、この制度を利用した。
- ・金融機関の窓口が親切で対応が良く、説明も明確で、実に誠意をもってやってくれるので安心できる。
- ・その他、「制度利用により助かった」との意見多数。

### **制度に対するご要望 (149 件)**

#### **(貸付実行の早期化)**

- ・借入申込から貸付実行までに日数がかかりすぎる。もう少し早くしてもらいたい。

#### **(返済期間の長期化)**

- ・返済期間を長くし、1回あたりの返済額を少なくできるようにしてもらいたい。
- ・今回（平成22年2月）の制度見直しにより、返済回数が15回になったが、さらに期間を延ばしてもらいたい。

#### **(貸付限度額の引き上げ)**

- ・条件があってもいいので、もう少し多く借入ができるようにしてもらいたい。
- ・現在、借入限度額は年金受給額の1.2倍までとなっているが、あまりにも低すぎる。年金からの返済なのだから、給与所得者の返済とは異なり、ある意味で担保されているので、借入限度額を引き上げてもらいたい。

#### **(追加融資)**

- ・現制度では、完済しないと新たな借入ができないが、借入期間中に返済済みとなった分については、追加借入ができるようにしてもらいたい。

#### **(申込み手続き等の簡略化)**

- ・借入申込書類および用意する書類が多すぎる。故に手続きに時間がかかる。簡単にしてもらいたい。
- ・高齢者が見ても分かりやすい内容にしてもらいたい。

#### **(その他)**

- ・2万円は無理であるが1万5千円なら都合がよい場合もあるので、返済額の単位が万円単位でなく千円単位であると便利だ。その結果、より実利用額に近い借入が可能となる。

## 事業仕分け結果「事業廃止」に対するご意見・ご要望（374件）

- ・先の事業仕分けにおいて「廃止」の方向が出され、その理由として「この制度があることにより生活保護申請が増加する」との報道があったが、この制度により高齢者は助かっている。高齢者ゆえに銀行、消費者金融、クレジット会社等すべての貸付制度が利用できない。しかし、高齢者になっても臨時に資金が必要になることがあり、そのような時にはこの制度があるため助かっている。
- ・年金生活者には、銀行、消費者金融業者等どこも融資をしてくれるところはないので、廃止されると非常時の出費に困る。
- ・年金担保貸付制度は、公的機関による融資制度のため安心して利用できるもので、廃止されると困る。
- ・今回の制度見直しにより、より良い制度になっており、今後も継続されることを要望する。
- ・年金担保貸付制度は、年金を受給している高齢者にとって唯一の貸付制度なので、ぜひ廃止しないでほしい。
- ・母子家庭であるため銀行等からの借入が難しく、保証人を立てることは困難である。少ない年金なので、借入することで少しはましな生活を送りたいため、この制度を廃止しないでほしい。
- ・年金担保で借入したみんなが悪い使い方をしていないと思う。一部の人が悪い使い方をして、本当に困っている人が制度を利用できなくなるのはおかしいと思う。
- ・事業仕分けで廃止の指摘があったが、その必要性はあるのか。条件として現制度以上に配慮した新制度を導入するのであれば納得できるが、このままの制度で廃止する必要はない。
- ・景気が回復して収入が増加傾向になれば廃止もあると思うが、現状は廃止する時期ではない。消費者金融も貸金業法改正により利用しづらくなっており、制度を廃止すればヤミ金融を利用せざるを得ない人が増えるのではないかと思う。
- ・障害を持つ者にとっては、思うように仕事ができない時もあるため、本当に困った時にこのような制度がなかったら大変である。
- ・生活福祉資金の場合、民生委員の関与とか、社会福祉協議会への申込とか、地域に知られる心配度が大きく不安である。
- ・この制度を廃止しないで欲しいが、仮に廃止するのであれば、利便性など本制度以上のものを必ず用意して欲しい。
- ・その他、「制度廃止に反対」、「事業存続を希望」する意見多数。